

<第4059回>

目的地：鈴鹿山系・神崎川

担当者：鶴田みゆき

実施日：2020年8月29日(土)～30日(日)

形式：テント泊山行

費用：¥6,670

参加者：足立俊瑞・岩谷多恵子・江口晶子・高岡英次・鶴田みゆき

行程：

8月29日 天気：晴れ

大阪駅(8:00)⇒京都駅(8:30)⇒(9:06)近江八幡駅(9:14)⇒(9:33)八日市駅(9:40)⇒(11:05)杠葉尾(11:10)→神崎橋(11:20)→(12:00)昼食(12:25)→仙香谷下降点(12:43)→ツメカリ谷下降点(12:51)→瀬戸峠東口(13:28)→(13:40)林道終点(13:50)→ジュルミチ谷(14:25)→(15:00)白滝谷出合(15:25)→(16:20)天狗谷(16:27)→(17:15)ヒロ沢出合(泊)

8月30日 天気：晴れ

ヒロ沢出合(7:10)→神崎川渡渉(7:45)→(8:20)お金谷出合(8:25)→(8:40)お金明神(8:50)→(9:00)お金谷出合(9:15)→(9:40)大瀬(9:45)→(10:10)休憩(10:30)→クラシ谷出合(10:40)→(10:55)タケ谷出合(11:30)→(11:40)鈴鹿の上高地・昼食(12:20)→タケ谷出合(12:30)→(12:50)千種街道出合(12:55)→(13:05)根の平峠(13:25)→千種街道登山口(14:15)→(14:30)朝明溪谷駐車場(15:00)⇒(15:20)湯の山温泉希望荘・入浴(17:00)⇒(17:10)近鉄湯の山温泉駅(17:17)⇒(17:43)近鉄四日市駅(18:00)⇒(19:40)近鉄鶴橋駅

感想：

例会案内を作成した時は、最後は御在所岳に神崎川を登りつめる計画でしたが、暑くなると休日は御在所ロープウェイが混雑することに気が付き、急きょ朝明溪谷に下るコースに変更させていただきました。

神崎川のアクセスでは東近江市のコミュニティバスを利用。1時間以上乗って200円と超破格値。パソコンが絶不調だったので、あらかじめ滋賀県警に登山届をメールできませんでした。それでプリントアウトした山行計画書のコピーを林道入口の登山届ポストに投函して出発。

川の渡渉を伴う山行なので増水してないことが山行実施の条件となります。そのため、天気がいい＝鈴鹿名物「ヒル」は不活発のはず…でしたが、前日に雨が降った様でご健在でした。白滝谷出合で神崎川を渡渉するため靴を脱いだら「ヒル」に血い吸われてました。「ヒル」除けの薬をふりかけてもらったら、よく効いたようです。その後は被害なし。

白滝谷出合からはエリアマップでは川沿いを歩くかのような表示になってますが、実際は一気に100m近く高巻きを強いられます。おまけに道が険しくて三か所ほど虎ロープが張られてる箇所もあり、技術を中級にしてみました。皆さん問題なく通過。問題だったのは汗が滝のように尽きることなく流れる暑さで、会社員A氏は熱中症気味。

テント場のヒロ沢出合では先着グループあり。テント場に着いたのが5時過ぎだったため釣りも焚き火もできなくて残念。でも、夕食を食べながらの宴会は会話が弾んで楽しかったです。そして、お2人様、ソロテント・デビューおめでとうございます。

2日目は遅めの7時出発。朝一、神崎川渡渉。なかなか簡単に渡渉できそうなところが見つからなかった。高岡さんにザイルを張ってもらい、朝7時とゆうのに神崎川で水泳を楽しんでたテント先着者にも助けられ、川を渡ることができました。しかし、2～3分上流に歩いて行くと流れがおだやかそうに見えるところが…。帰ってヤマレコで足跡を調べるとかなり上流まで広範囲に渡渉してるようでした。もっと広範囲に渡渉点を探すべきだったと反省。参加者の皆さん、苦勞かけてごめんなさい。その後はお金明神、大瀬と観光地を巡って神崎川流域最大の人気場所、鈴鹿の上高地へ。行って見たかった場所で、ここでゆっくり昼食の時間をとるつもりだったのに雨がパラパラ降りだしたので追いつてられるように帰路に着く…ったく。

タケ谷道から千種街道に入り根の平峠へ向かう道もいい雰囲気。朝明溪谷からはタクシーで湯の山温泉に向かう。タクシーの運転手さんが、三重県が誇る湯の山温泉の施設「希望荘」を薦めて下さるのでそこで入浴することに。入浴後、近鉄湯の山温泉駅まで送っていただく。近鉄四日市駅からアーバンライナーに乗車、反省会で盛り上がる。

今回の山行でいいテント場を見つけました。機会があれば鈴鹿の上高地で釣りや焚き火などしながらゆっくり過ごしたい。